

敬老おめでとうございます!

理事長 大江 朝美

9月になり、ようやく涼しくなってきました。皆さまが今年の暑い夏を乗り切り、元気で敬老の日を迎えられたことを大変うれしく思います。本当におめでとうございます。

「ももハウス」に参加されているみなさまの平均年齢をみるとこの9月1日で81.5歳です。最高齢者は98歳の藤原須賀子さんです(左下)。



戦前・戦後は物がなくてたいへんご苦労をされたり、仕事などで差別を受けたり、また手話通訳者がいない不便な生活の中でも、決してめげ

ることなく今日まで頑張ってきた皆さまには本当に頭が下がる思いです。

「ももハウス」に来て、みなさんと手話でおしゃべりを楽しんだり活動したり、時には健康や介護の学習会で知識を高めたりすることはとても大切なことです。また生活する中で、さまざまな不安や困りごとを「ももハウス」で相談して問題の解決につなげた例が、これまでもたくさんあります。

そうしたなかで、みなさんの笑顔が増えている姿を見ると、法人にとって喜びであり大きな励みとなっています。

これからも、昭和・平成・令和の時代を一生懸命生きてこられたみなさまの体験話をいっぱい聞かせてください。また、これからもお体に気をつけて楽しく過ごしていきましょう。



昨年度の敬老を祝う会 2023.9.5、

□ 令和6年度「第13回通常総会」を開催

6月4日(火) きらめきプラザで開催しました。大江理事長の挨拶の後、4名の来賓挨拶をうけてお祝いメッセージを紹介。総会は、会員数100名のうち、出席56名、委任状39名の95名で会は成立。

昨年度の活動で大きな特徴を6つ紹介します。

- ① コロナ感染が5類に移行したことで、ももハウスの活動回数と参加人数が増えたこと。
- ② 4/2。4年ぶりに玉野市 来賓の方々 深山公園へお花に行き、たまの湯で食事。みなさんと楽しくバス旅行に行けたこと。
- ③ 9/5。「敬老を祝う会」高齢者全員が前で「私の話したいこと」を発表されたこと。
- ④ 2/6。「デフ・パペットシアター・ひとみ」(ろう者たちによる人形劇団・神奈川県川崎市)が来られ、思い出の絵を発表したり、楽しく交流したこと。
- ⑤ 7/25。近くの学童クラブ「タツ」へ手縫いぞうきを寄贈し、子どもたちと交流したこと。
- ⑥ 9/1。岡山聾学校へ卒業生たちが手縫いぞうきを寄贈し、生徒代表と交流したこと。



今年度もみなさんと元気で楽しい「ももハウス」を継続していくことが、満場一致で決まりました。

午後からは、大江朝美さんと坂口 環さんによる「岡山の手話表現」の説明。二人のかけあいがとても楽しく良かったです。手話にも方言と同じ、地域や年齢によって多少異なる手話があることをユーモアたっぷりに分かりやすく表現して紹介されました。



トピックス紹介！

□ 8/6 特別講演 坂口 雅夫 さん

題 「晴れの国おかやま 24 時間 100km 歩行」

5/3 に開催された「晴れの国おかやま 24 時間 100km 歩行」に参加されたマラソン・トライアスロンチャレンジャーの坂口さんをお迎えして、「24 時間以内で 100km」を歩かれた(=完歩)お話を聞きました。当日の様子をYouTube



の映像で紹介。質問を受けながら分かりやすく話されました。

5/3 10 時。中区西川原の旭川鉄橋の近くをスタート。主催者の計らいで手話通訳のサポーターがゴールまでついて下さったそうです。

夜はヘッドライトをつけて、寝ずに歩き、足の疲れと睡魔と戦いの連続 …。

5/4 午前0時。60km 地点の閑谷学校に到着。暖かい豚汁を頂き気持ちは和らぎましたが、足はだんだんと重くなり棒のようになり、さらに眠くて何度もくじけそうになったそうです。

朝 5 時過ぎ。山陽町で日の出を見て感動！自分にあと 10km！と励ますが、疲労と眠気で足が前に進もうとしなかったそうです。

そして、ゴールが閉まる 10 時の 1 時間前。午前 8 時 27 分に時間内でゴールしました！100km を 22 時間 27 分かけて完歩！ゴールした後、主催の方から「ろう者の 100km 完歩は、坂口さんが初めてです！」と聞いてさらに感激したそうです。

24 時間、100km を付き合っ下さった手話通訳サポーターの方々や大会運営の方々のおかげによって、とても多くの感動を頂いたそうです。坂口さん 100km の完歩おめでとうございました！



100km を完歩したお話にみなさんも感動！

7/23 夏まつり かき氷 & ピザ

ももハウスから車で 5 分。障害のある人たちが働く、就労継続支援 B 型事業所「はびふるあゆむ」(南区泉田)より、ピザのキッチンカーとピザ職人の腕前を持つ利用者さんが来られ、ピザを美味しく頂きました。

ももハウスの利用者には、ピザを食べたことがない方もいます。目の前で生地を伸ばして具材をのせて、ピザ窯で焼く工程を見せてもらいました。

「ピザがとても美味しかった！」とみなさん満足されてお土産に冷凍ピザを買う方も多くいました。



ピザづくりを見学



美味しいピザを頂きました

午後からは 恒例の「かき氷」！

午後からは恒例の「かき氷」。近くの学童クラブ「タツ」の元気な子どもたち(1 年～6 年)13 名がやってきました。「けん玉」の珍しい技を披露しました。子どもたちには、ももハウスの「コマ回し名人」がコマの回し方を教えるなど、子どもたちと楽しく交流をしました。交流後は、「かき氷」の時間！

ご近所の方々や「はびふるあゆむ」の利用者さん達も加わり、総勢 71 人がかき氷を頂きました。

サクサクしたかき氷にみなさん「美味しい！」の声。ほとんどの人がお代わりをしていました。



71 名の方々が美味しいかき氷を頂きました



タツの子どもたちと記念写真

夏まつりのお礼

※ かき氷を今年も提供して頂いた 吉原冷蔵株式会社代表取締役 吉原 徹 様、そしてエムエムライフ代表取締役 松浦 琢磨 様。お忙しい中のご支援をありがとうございました。

□ 活動の紹介！

ももハウスの特徴的な活動を紹介します。

(1) 南ふれあいセンター「介護予防教室」

岡山市は 2014(H26)年度より、市内 5ヶ所のふれあいセンターで「介護予防教室」を始めました。当初、市は聴覚障害の人たちが参加することなど想定しておらず、手話通訳者の設置すら考えていませんでした。そこで、ももハウスの方が参加するために岡山市へ手話通訳者の設置を何度もお願いに行きました。その結果、介護予防教室に手話通訳者がつくことになりました。



南ふれあいセンター(南区福田)は、ももハウスから 2.5km。車で 6 分程の所にあります。

毎月8名程の方々が楽しみに「介護予防教室」へ参加しています。

10時～あいさつ、ストレッチ体操の後、健康や介護予防の話など、毎月いろいろな内容の講座をします。午後の後半が始まる時、ももハウスの人が前に出て簡単な「手話を紹介」します。

8/2の教室では、奥山博之さんが前に出てみなさんに「ありがとう」の手話を教えました。

介護予防教室は健康や介護予防等の知識を学ぶばかりではなく地域の聴こえる方々との交流を通して「聴覚障害」や「手話」のことを広く知ってもらえる良い機会となっています ^^)! v



「ありがとう」の手話を紹介

◇ 「介護予防教室」に参加して

(開催日：毎月第1金曜日 午前)

藤森 政子 さん

私はストレッチ体操をしたり、健康や介護予防のことを学びたくて参加しています。参加して良かったことは、勉強になることです。手話通訳も付いているので参加して楽しいです。今まで知らなかった健康のことや認知症を防ぐ方法を学んで役にたっています。健康の講座を通して病院で健康診断を受けることや、定期的に歯医者に通って診てもらったことを学びました。これからも頑張っ通い、いろいろなことを学んで生活に役立てたいです。



内藤 澄子 さん

始めの頃は行っていませんでしたが、行った人から話を聞いて、私も行っていろいろなことを学びたいと思いました。

「運動することがよい」という話が印象に残り、良かったです。

ここは、聴者もろう者も一緒に参加して学べるため楽しみに通っています。



(2) 書道教室

小島節子先生、阿部富佐子 先生

(開催日：毎月第3金曜日 午後)

奥山 博之 さん

筆で書くことは難しいですが、これまで知らなかった文字や言葉が出てきてとても勉強になります。ハネやトメなど分からは先生に教えてもらっています。また、漢字の書き順が分からない時は、先生に尋ねると、いつも優しく教えてください。書道は文字のきれいな、きたないに関係なく、筆をもって集中して書くことができるのでとても良いです。上手に書けた時は気持ちがよくなります。これからも書道を続けていきたいです。



(3) ヨーガ教室 鈴木 幸代 先生

(開催日：毎月第2火曜日 午前)

入星 弘子 さん

タオルを使った体操をした時や、体を伸ばした後は、とても気持ちが良くリラックスできます。

家でも習ったことを時々やって体をほぐしています。鈴木先生はいつも楽しく優しく教えてくれます。これからも楽しく参加して、心も体も気持ち良くしていきたいです。



河原 安子 さん

ふだん家ではじっとして、体がなまっていますが、ヨガをすることで身体がとても気持ち良くなります。いつも歩いてウォーキングをしていますが、ヨガのように体全体を動かすことはないため、とても良いことだと思っています。先生はいつも優しく教えてくれます。いろいろな話をたくさんしてくれるので毎回楽しみに参加しています。先生、これからもよろしくお願いします。



【特集】 ～ 私の話したいこと ～

昨年の9月5日、「敬老を祝う会」で発表されたなかで今回3名の方の発表を紹介します。

◇ ろう学校の思い出 川向 公代 さん

私は兵庫県姫路市で、ろう学校ではなく普通の小学校に通いました。会話を理解するには難しかったので、他の人の動きを見て、まねをして整列し行進していました。勉強の時間は、黒板を見ても分からなかったのですが、隣の席の友達のノートを見て書き写していました。私といとこが日曜に姫路の教会に通っていた時、帰る途中に手話をしている人を見つけました。その方にろう学校のことを聞き、すぐに見学に



行きました。そして小学5年生から、ろう学校に転校しました。

授業では読み書きが難しく、つらい思いをしました。小学校1年からやり直しとなり読み取り、発語の練習、音読の練習をしました。

レコードで音楽を聴いて「むすんでひらいて」を歌ったり、ドレミを覚えて木琴がひけて楽しかったことも懐かしく思い出されます。家に帰っても音楽のリズムに合わせて踊ったりしました。

ろう学校を卒業し、洋裁の専門学校に通いました。授業では先生の指示で最前列に座り、一生懸命に学びました。洋裁学校を卒業し、洋服をオーダーで作りお客様に喜ばれていました。

◇ 私と、ももハウス 内田 一子 さん

私は2017年から、ももハウスに通っています。施設で生活していますが、施設の中では少し手話を使って話しています。入居したばかりの時は手話が通じず、コミュニケーションがとれなくて孤独を感じ、とても寂しかったです。

ももハウスに行くと、手話でたくさんお話しができるので楽しいです。元気になります。ももハウスの食事はとても美味しいです。

以前は、ももハウスで料理当番をしていましたが、今は食後のお皿洗いを毎回するようにしています。他にも、お茶をみなさんに配るなどのお手伝いをしています。そのような仕事をしながらこれからも、ももハウスに通いたいと思います。



ろう学校の思い出 入星 弘子 さん

私は小学校1年から父の自転車に乗せてもらいろう学校に通いました。中学部からは一人で通学しました。

私の思い出は、高校部3年生の時の修学旅行です。

東京方面に行った2泊3日の修学旅行は箱根、芦ノ湖、日光、東京タワー、東京国際空港見学など、とても思い出に残る楽しい旅行でした。

(続きあり)

しかし、楽しみにしていた静岡県熱海市伊豆山の「十国峠」から眺める富士山。当日は悪天候で見られなかったことが、とても残念でした。



十国峠から見た富士山

◇ 楽しかった会社の旅行 奥山 博之 さん

私が20歳の時、職場にはろう者が15人いました。仕事は60歳まで頑張りました。社員旅行ではフィリピンへ3度行きました。

国内旅行では、岡山空港(今の岡南飛行場)から飛行機で鹿児島旅行にも行きました。とても良かったです。鹿児島県南九州市の戦没者を偲ぶ知覧特攻平和会館は、特に印象に残っています。戦争は本当に悲しいですね。鹿児島旅行では桜島を船で周遊したこともありました。

私は今一人暮らしをしています。節約を考えながら買い物をして楽しく過ごしています。いつか、徳島の阿波踊りを見に行きたいと思っています。



中央が私



知覧特攻平和館



桜島です

◎ わが家のペットを紹介 坂口 環 さん

うちの玄関内に、ミドリガメを2匹飼っている。飼い始めてから、32年にもなる。



人間でいうと116歳!? 「鶴は千年、亀は万年」ということわざがあるとおり、本当に長く生きるのですね。子どもたちが幼い頃、祖父がお祭りで買って

きたのか、もらったのか。まだ3cmぐらいで小さくて可愛かったのに…。今では、2匹とも25cmにも大きくなって、爪も鋭くなってきている。

冬眠期間はお世話不要で楽だけど、暖かくなり冬眠から起きるとお世話を戦いが始まる。

食欲旺盛で朝夕のエサの時間になると 私の顔を向いて、カリカリと爪をたて てエサを求める。

エサをやると2匹が喧嘩に なるほどむさぼり食う。

そして、排泄物で水が すぐに濁ってしまう。その都度に、屋外にある立水栓まで重い水槽を運んで掃除をし、水かえをしないとイケない。

亀はバカなのか、小石、排泄物など、目の前にあるものは何でも食べてしまうので厄介です。

亀が若かった頃は、1日に1~3個卵を産んでいたのですが、その卵をすぐ食べてしまうため、卵からかえたことは1度もありません。



重なり合ったカメたち

私が疲れた時は、玄関に居座って亀を見ながらボーッとするのが息抜きです。その亀が水槽から脱走したいのか、遊びたいのか、体(甲羅)を縦に、手や首を真上に伸ばして水槽のフチに爪で引っかけて上がろうとしている。しかし、甲羅が邪魔なのか、短い後ろ足を一生懸命にあげようとする動きがまた面白い。狭い水槽であまり動けない代わりに懸垂運動をしているのでしょうか。

冬眠以外の季節のお世話は大変ですが、玄関で亀を見ながら息抜きをするのが、癒しのひとときです。その亀もあとどれぐらい生きてくれるのでしょうかね…。



※ 左のQRコードで亀の動画が見られますよ!

□ 世のため、人のため・・・自分のため？

「キワニスドール」づくり ♪♪

Q. 「キワニスドール」ってごぞんじですか？
聞いたことは、ありますか？？

A. 「キワニスドール」は、は白い布に綿をつめた
身長 40cm ほどの人形です。
1988 年にオーストラリアで作られました。
病気の子どもたちが、白い人形に好きな人の
顔を描いたりして、心の支えなどにします。
今や世界じゅうで、その活動が広がっています。



ももハウスでは、エムエムライフの松浦さんより
作成のお声かけをして頂きました。

手芸の得意な藤森さん、内藤さん、入星さん
たちが集まって作っています。
「キワニスドール手にする子どもたちが少しでも
元気になってもらえる」ことを願いながら作られ
ているそうです。

6月4日、通常総会に来賓で来られたエムエム
ライフの松浦さんに、藤森さんたちが作った複数
のキワニスドールを大江理事長からお渡しする
ことができました。



キワニスドールを手にする松浦さんと

□ 新しいスタッフの紹介

① 西神 瑞恵さん (にしかみ みずえ)

・職業：今は無職です。
(登録手話通訳)

・趣味：旅行
(ここ数年、行けてない(T_T))

・特技：テニス
(長年続けているのですが、
特技と言えるかどうか?..)

・好きなこと：野球観戦(押しは阪神タイガース！)
・好きな食べ物：美味しいものなら何でも大好き
・「ももハウス」に行ってみようと思ったきっかけ：
「ももハウスだより」で、みなさんの楽しそうな
様子を見て「行きたいな！」と思っていました。
今年3月末に仕事を辞めたので、平日に動け
るようになりお邪魔しています。

・「ももハウス」の利用者さんの印象について：
個性豊か、明るくてパワフル、おしゃべり大好き
(私には読めないことが..多々あり (>_<))

・これからの抱負(ほうふ)：

(※ 抱負とは? :心の中にある決意や計画)
みなさんのお顔と名前を早く覚えて、いっぱい
お話しながら、一緒に楽しい時間を過ごしたい
です。このところ覚えが悪く、反応も鈍くなって
きていますが、よろしく願いいたします。
・最後に：一緒に写っている猫は、わが家の姫
です。名前を「ベル」と申します。よろしく！



② 新免 昇さん (しんめん のぼる)

・年齢：今年の11月で43歳
・仕事：某スーパー店員
・家族：奥さん、子ども2人の4人家族
・趣味：ドライブ、写真を撮ること
・好きな食べ物：甘いものとお肉
・嫌いな食べ物：キュウリ

・「ももハウス」に行ってみようと思ったきっかけ：
手話学校で見たチラシで「岡山にこういう所が
あるのかあ」と
初めて知り一度
見てみたいと
思い見学に行か
せていただきました。



私の母のお友だちと一緒に

(続きあり)

始めは何をしてよいのか？ わからなくて
(今もですが)利用者さんが来られるのを待って
いました。次々と来られて、私がイメージ(想像)
していたのと大違いでした。

来られた方々の笑顔で、すごくお元気でびっく
りました。ももハウスをとっても楽しみにされている
のが分かるくらい、あちらこちらでお話が盛り
上がって止まらないほどでした(笑)

お手伝いに来ていたはずが、皆さんがお元氣
で可愛らしくて、反対に元氣をもらいました。

私は手話もまだまだで、お手伝いもまだまだ
できていません。仕事の休みと、ももハウスの日
がなかなか合わないのが悩みです。

『あんたがおって(あなたがいて)よかったわ!』
と言ってもらえるスタッフになれるように、みなさ
んと一緒に楽しみながら頑張りますので、これか
らもどうかよろしく願いいたします。

(しんめん のぼる)

.....

『将棋大会の報告』

第7回 将棋大会 平成6年3月4日

優勝者 木内 伸 さん(聴者) ***初優勝!**
第2位 内藤 敦 さん
第3位 佐藤 勝政 さん
第4位 梶川 不二男 さん
第5位 中村 俊作 さん

第8回 将棋大会 平成6年7月1日

優勝者 木内 伸 さん ***2連覇!**
第2位 佐藤 勝政 さん
第3位 裏辻 哲也 さん
第4位 内藤 敦 さん
第5位 中村 俊作 さん

※ 第9回大会 は、10月7日(月)です。
みなさん、ふるってご参加ください。

【編集後記】

今年の夏は、今までに経験したことのない
猛暑、酷暑の続く日でした。そうした中を暑さに
負けることなく、楽しく集うことが継続できました。
元気に過ごせたことが何よりです。

さて、戦後、最たる人権侵害の旧優生保護法
国家賠償請求訴訟について、2024年7月3日、
最高裁判所大法廷は、旧優生保護法による
強制不妊手術を受けさせられた被害者たち
に対して国の責任を認め、損害賠償金を支払う
よう命じました。また、除斥期間も権利の濫用と
して許されないと認められました。

原告37名のうち17名がろう者でした。当事者
とそれを支える当事者団体や支援者らの運動の
結果で、今まで虐げられてきた人々の人権が
守られた判決です。

しかし、障害者や子どもなど、まだまだ人権が
守られない場面が多くあり、痛ましい事件が起き
ています。

また、今年度から「合理的配慮の義務化」と
なりました。聞こえない人々への合理的配慮と
は何か？ 私たちの身の回りのことから目を向け
て、さらには社会にも目を向けながら、みなさん
と一緒に考え学んでいきましょう。

(土屋 教子)



「ももハウス」ホームページ
左のQRコードからご覧ください。

また、「岡山聴覚障害者支援センター」と
入力して、検索しても見られます。
「ももハウス」の活動などを紹介しています。